

と お か ま ち

Public Relations 市報 No.292

5 2017 /25

平成29年 5月25日号

生活情報版

日 日 時 休 休 日 会 場 対 象 者 料 金 (記 載 が ない ときは 無 料) 定 員 内 容 持 持 物 講 師 他 其 他 納 め 切 り 申 込 込 み 問 合 せ F A X

読書活動の推進



「家読」で豊かなコミュニケーションを

●●●●● 問合せ：教育センター ☎756-5011



学校の「朝の読書」運動の家庭版として、2006年に提唱されたものです。この取組みが始まった背景には、メディア環境の著しい変化があります。携帯電話やスマートフォンの急速な普及で、手軽にインターネット、電子ゲームなどができるようになり便利となった一方で、それにより家族の会話が少なくなったり、子どもたちの心が不安定な状態になったりするなど、現代の社会問題と なっています。

そこで、読書という方法で家庭内のコミュニケーションを図り、家族の絆を深めるために始まったのが、家読です。

家読とは

「家読」は、「家族ふれあい読書」の略語で、家族で読書を行うことにより、家庭内のコミュニケーションを深めるための取組みです。市では、各学校・家庭と協力し、この読書運動を推進します。

家読の取組み方法



子どもを中心に家族で同じ本を読み、読んだ本の感想を話し合います。本は、絵本がお勧めです。

絵本は短時間で読むことができ、絵の印象や物語の感想など、話す内容が多様になります。また、小さい子どもから大人まで、世代を問わず家族全員がページを開きながら、それぞれに感じたことを語り合うことができます。

～ 家読の利点 ～

- 家庭での過ごし方を見直すことができる
- テレビの見過ぎ、ゲームのやり過ぎに気を配るようになる
- 親子のコミュニケーションの場を確保できる
- 読書を習慣化できる
- 親が子に、生き方などを教える機会ができる
- 話のテーマに触れ、親自身が学習する
- 家庭内の言葉が磨かれていく

※家読推進プロジェクトホームページより

今年 は 全 て の 小 ・ 中 学 校 お よ び 特 別 支 援 学 校 で 、 毎 月 第 3 日 曜 日 を 「 家 読 の 日 」 と し て 取 り 組 み ま す 。 各 学 校 で は 家 読 の 日 を P R し 、 子 ど も た ち に 本 の 貸 し 出 し を 行 い ま す 。 ま た 、 情 報 館 で は 、 家 読 向 け の 本 を 紹 介 し ま す 。 ぜ ひ 、 各 家 庭 で も 家 読 に 取 り 組 み 、 豊 か な コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン を 楽 し ん で く だ さ い 。